

北信越高等学校陸上競技対校選手権大会運営申し合わせ事項

1 予選番組編成

◎トラック競技

- (1) 各県予選会順位を尊重し、最初に県順を抽選する。
- (2) 配列は別記番組編成表による。
 - ・ 5組編成の配列順は、上から下を繰り返し、2順目以後は、1番県を最後にまわし、他県を1つずつ繰り上げる。
- (3) 各県順は種目ごとに抽選する。
- (4) レーンは無作為に抽選する。
- (5) 同一組に同一校が入った場合は、同一県の下位の学校の選手と入れ替える。
- (6) 男子 5000m・5000mW・女子 3000m・5000mW のレーン順は、フィールド競技に準じる。
- (7) 男子 5000m・女子 3000m はグループスタートで行う。
- (8) 各県予選会で6位が複数の場合は、同じ県の6位の組に入れて編成する。
- (9) 各県予選会で5位が3名以上の場合は、編成上、5位1名と6位複数を抽選する。

◎フィールド競技の試技順

- (1) 種目ごとに、各県の試技順を抽選する。
- (2) 各県における個人の試技順は、無作為に抽選する。
- (3) 配列は、各県の試技順に従い各県1番の選手を配列し、2順目以後の配列は試技順1番の県を最後にまわし、他県を繰り上げる。
- (4) ハンマー投の左投げ選手については競技の進行上、試技順序を変える場合がある。

◎混成種目

- (1) すべてフリー抽選とする。
- (2) 女子 800m はそれまでの得点の高い選手で、1つの組を編成する。

2 準決勝・決勝番組編成

◎トラック競技において+アルファの進出者を決める場合は、その最下位で同成績がでたときは、下記の方法で決定する。

- (1) 100m・200m・400m・800m・100mH・110mH・400mH・4×100mR・4×400mR の同成績については、細部まで読み取り着差の判定をする(1/1000)。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。但し、決勝は8名(リレーは8チーム)で実施する。また、アクシデント等で救済された者は、その前のラウンドの記録下位者グループでレーンを振り分ける。
- (2) 1500m・3000mSC の同タイム者は次のラウンドに進める。

◎準決勝番組編成において、同一組に同一校の選手が2人入ったときは予選記録の次の記録の選手と入れ替える。また、同一校が3人出場する場合は、予選記録の上位者と中・下位者に分ける。(準決勝2組の場合)

3 抗議

必ず県委員長を通して行う。

4 投てき計測

一投ごとに行う。

5 全国高校総体出場者の決定について

- ・ 各種目とも本大会6位までの入賞者とする。ただし、男女走高跳・男子棒高跳については6位までの入賞者が6人を超えた場合、全国大会への出場決定戦を実施し6名とする。男女5000m競歩、女子三段跳、女子ハンマー投については4位までの入賞者とする。女子棒高跳については4位までの入賞者が4人を超えた場合、全国大会への出場決定戦を実施し4名とする。(平成29年2月確認)
- ・ 男子八種競技、女子七種競技においては、3位までの入賞者に加えて、各地区予選会の4～6位までの入賞者から上位者5位(地区予選会記録順)とする。(平成29年4月確認)
- ・ 走高跳・棒高跳は、1位決定ルールを適用する。(平成24年2月確認)

